

第182回

中小企業景況状況調査報告書

〔 令和 6年 10月 ～ 12月 実測
令和 7年 1月 ～ 2月 予測 〕

令和6年12月
群馬県商工会連合会

中小企業景況調査要領

1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index, 景気動向指数) の略であり増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業の割合を差し引いた値を示すものである。

D・I がプラス (+) なら・・・強気 (楽観)

D・I がマイナス (-) なら・・・弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I 指数・・・ $50\% - 20\% = 30\%$

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

2. 調査期間

今回は令和6年9月1日 (日) を調査時点とし、期間は 令和6年7月～9月期である。

3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

令和 6年 10月 ～ 12月 予測

商工会名 (商工会管区人口: 人)	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
太田市新田 (65,436)	15	3	2	4	6
桐生市黒保根 (1,529)	15	3	3	4	5
高崎市倉渕 (3,045)	15	5	3	2	5
榛東村 (14,604)	15	3	2	4	6
高崎市新町 (11,748)	15	2	3	4	6
甘楽町 (12,536)	15	3	2	4	6
東吾妻町 (12,523)	15	4	3	3	5
片品村 (4,049)	15	3	2	4	6
玉村町 (35,820)	15	3	2	4	6
邑楽町 (25,767)	15	3	3	3	6
合計 (構成比%)	150 100.0%	32 21.3%	25 16.7%	36 24.0%	57 38.0%
回答企業数	150	32	24	36	57
回収率 (%)	100.0	100.0%	96.0%	100.0%	100.0%

※人口については、各市町村ホームページ等を参照

・令和6年5月末日現在の人口となります。

5. 業種別構成 令和6年12月

(1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品製造業	9	28.1
飲料・飼料・たばこ製造業	0	0.0
繊維工業	1	3.1
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
木材・木製品製造業	1	3.1
家具・装備品製造業	1	3.1
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	0	0.0
化学工業	1	3.1
プラスチック製品製造業	1	3.1
窯業・土石製品製造業	0	0.0
金属製品製造業	7	21.9
一般機械器具製造業	0	0.0
電気機械器具製造業	0	0.0
輸送用機械器具製造業	0	0.0
精密機械器具製造業	0	0.0
その他製造業	11	34.4
合 計	32	100.0

(2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	3	12.0
識別工事業	18	72.0
設備工事業	4	16.0
合 計	25	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
各種商品小売業	11	30.6
織物・衣服・身の回り品小売業	1	2.8
飲食料品小売業	7	19.4
自動車・自転車小売業	1	2.8
家具・建具・じゅう器小売業	2	5.6
その他小売業	14	38.9
合 計	36	100.0

(4) サービス業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
一般飲食店	21	36.8
宿泊業	7	12.3
運送業	1	1.8
自動車整備業	8	14.0
洗濯・理容・美容業	7	12.3
その他の生活関連サービス業	13	22.8
合 計	57	100.0

1. 群馬県全産業の景況概況

今期（令和6年10月～12月期）の各産業売上高（完成工事高）DI値に見る業況判断は、製造業：-6.3→-15.7、建設業：4.0→-8.4、小売業：-20.0→-22.2、サービス業：18.5→8.8となった。製造業、建設業、小売業、サービス業で低下となった。

また、業種別の景況判断では、製造業、小売業は「曇」建設業、サービス業は「薄曇」となった。

来期（令和7年1月～3月期）予想では製造業：3.2→-6.3「薄曇」、建設業：-8.0→8.4「薄曇」、小売業：-14.3→-11.1「曇」、サービス業：12.9→8.1「薄曇」であり、建設業、小売業がやや上昇、製造業、サービス業はやや低下すると思われる。

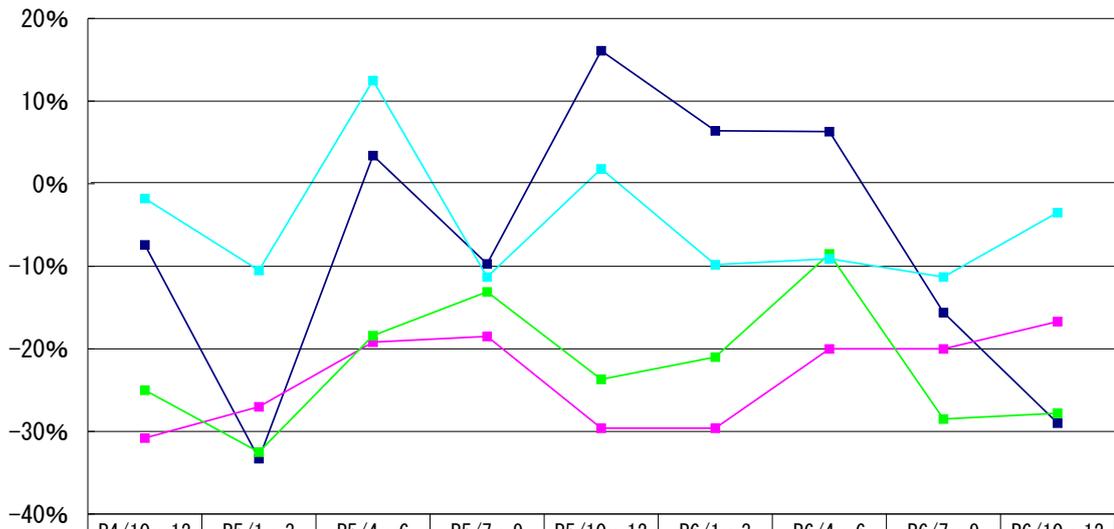
凡例

DI値	100 ～ 30.1	30 ～ 10.1	10 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表示						
内容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 第182回	令和4年度		令和5年度				令和6年度			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月見込
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業	 10～12月実測									

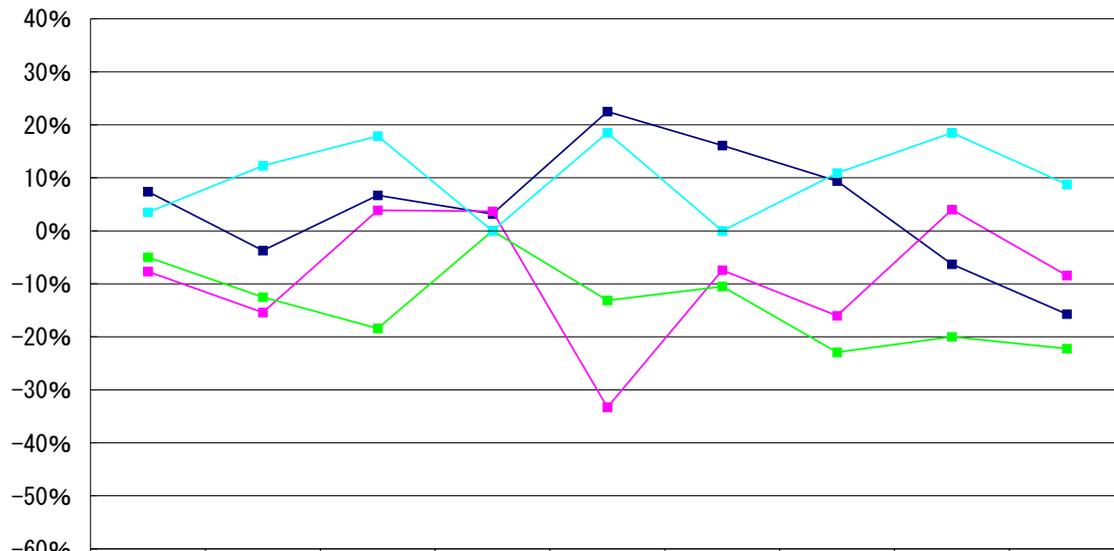
全産業の業況（自社）推移—前年同期比—



	R4/10~12	R5/1~3	R5/4~6	R5/7~9	R5/10~12	R6/1~3	R6/4~6	R6/7~9	R6/10~12
製造業	-7.4	-33.3	3.4	-9.7	16.1	6.4	6.3	-15.6	-29.0
建設業	-30.8	-27.0	-19.2	-18.5	-29.6	-29.6	-20.0	-20.0	-16.7
小売業	-25.0	-32.5	-18.4	-13.1	-23.7	-21.0	-8.5	-28.5	-27.8
サービス業	-1.8	-10.5	12.5	-11.3	1.8	-9.8	-9.1	-11.3	-3.5

D I

全産業の売上高推移—前年同期比—



	R4/10~12	R5/1~3	R5/4~6	R5/7~9	R5/10~12	R6/1~3	R6/4~6	R6/7~9	R6/10~12
製造業	7.4	-3.7	6.7	3.2	22.5	16.1	9.4	-6.3	-15.7
建設業	-7.7	-15.4	3.9	3.7	-33.3	-7.4	-16.0	4.0	-8.4
小売業	-5.0	-12.5	-18.4	0.0	-13.1	-10.5	-22.9	-20.0	-22.2
サービス業	3.5	12.3	17.9	0.0	18.5	0.0	10.9	18.5	8.8